

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.09.20

No.026



発足6箇月、早くも問題だらけ…

八地申
第4号

武蔵野運輸区発足後の

2024年9月20日提出！

労働条件・業務改善を求める申し入れ

新造した庁舎なのに不衛生、乗務員の手配ミスや

休養不足の現実に安衛も機能せず

申し入れ項目

1. 武蔵野運輸区を発足した成果と課題を明確にすること。
2. 入り口付近の動線が悪く、乗務準備しづらい状況であるため、PTだけではなく全社員の意見を踏まえたうえで乗務準備しやすいレイアウトに変更すること。
3. トイレで洗面・歯磨きをせざるを得ない不衛生な状況であるため、武蔵野運輸区を使用する社員が快適に使用出来るよう1階フロア内に洗面台を設置すること。
4. タオルやウィンドブレーカーなどの濡れたものを干す場所がない不衛生な状況であるため、乾燥室を設置すること。
5. 男性浴室清掃時間が、10時から1時間となっているが明けの時間帯(10時～12時)に利用したいとの意見が多いため、清掃時間を他の時間に変更すること。
6. 寝室のリネン袋の整理を気づいた社員がやるというような曖昧な状況であるため、リネンが袋から溢れ乱雑になっている時がある。社員の感染症対策・衛生面の観点から、清掃のプロである協力会社に委託すること。
7. 通常業務や環境整備等で使う服装や道具の多くを自分で用意していることから、業務に必要なものは会社が用意すること。
8. ダイヤ改正に関する業務がPTのみで行われており、現場で働く社員の意見が反映されないことから、より良いダイヤにするため全希望者が参加できるダイヤ改正勉強会を開催すること。
9. 乗り継ぎ時間が短く、徒歩時分を引くと運輸区滞在時間が10分に満たないものが多くある。安全を担保するうえで十分な乗り継ぎ時間にすること。また輸送混乱などで、運輸区に戻りたくても戻れない状況になった時等のために、ホーム詰所を設置すること。
10. 転勤者に対する教育について、乗務に必要な現車訓練が疎かになることや、現場を見ない状態で線見がされ、不安を抱えながらの乗務になることから、車掌業務の教育は転勤者と新人車掌、同じ内容で行うこと。

職場で働く仲間の声を基に

安全・安心の職場づくりを求めます！